

令和8年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立両城小学校
(両城中学校区)

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	+0.1	+1.6
令和7年度	-1.8	-3.0
令和6年度	+18.3	+18.6
令和5年度	+14.8	+17.5
令和4年度	-0.6	+1.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 言葉の特徴や使い方 読むこと 情報の扱い方 書くこと 話すこと・聞くこと 県平均 本校 本校 61% 全国 60.9% 県 64%	重点課題 ◎①考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することに課題がある。(設問2二)【情報の扱い方】(平均正答率37.5%(全国平均との差-11.4)) ②情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。(設問3二)【情報の扱い方】(平均正答率43.8%(全国平均との差-11.8)) ◇必要な情報を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(設問2四)【書くこと】(平均正答率37.5%(全国平均との差+4)) 改善の方策 ◎情報と情報との関係において、低学年では、共通・相違・順序について各教科の学習において意識的に整理させること、3学年以上の学年で比較・分類・関係付け等情報と情報との関係について図を用いて整理する活動を取り入れていく。 ◇全ての教科で、要旨を押さえ自分の考えを根拠とともに文章で書く指導を行う。 検証 ◎全国学力(設問2二・3二)(第5・6学年,1月)目標70% ◇標準学力調査(全学年,12月)目標 全国平均との差+3.0
算数 数と計算 データの活用 図形 測定 変化と関係 全国平均 県平均 本校 本校 58% 全国 58% 県 56.4%	重点課題 ◎◇身の回りの事象について問題解決するために、二次元の表から、必要なデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることに課題がある。(設問4(3))【データの活用】(平均正答率25.0%(全国平均との差+7.1)) 改善の方策 ◎◇全ての教科でデータを読み取る活動を通して、表のどの部分に着目したかを数学的な表現を用いて説明したり、総合的な学習の時間等を利用して表を作成して説明したりする活動を取り入れる。 検証 ◎データ活用に関する市販テストの問題(第5年「割合とグラフ」・第6年「データの整理と活用」,1月)目標80% ◇全国学力(設問4(3))の問題(第5・6年,12月)目標50%

【来年度に向けて】